



波紋

創刊 1985年(昭和60年)

2024年2月
No. 464号

第二十八回

元気が出る信念会



1月5日にコートヤード・バイ・マリオット名古屋にて、信念会が3年振りに開催されました。新たに仲間となった森松マンと共により一層元気な森松を、今年もよろしくお願い致します。

楽しむ

森 直樹 (代表取締役社長)



アスリートの世界で大舞台を前に「楽しんできます」というコメントが聞かれるのが当たり前の時代になりましたが、一昔前、昭和の時代からすると「勝ち負けが第一、楽しむのは二の次」といった考えになりがちでした。(私もです。)『楽しむ』ということへの捉え方が、時代とともに変化していることなのだと思います。楽しむということが楽(ラク)をする、リラックスして力を抜く、といったマイナスイメージの捉え方に対して、現在の捉え方は楽しむことは自分の最高の実力を出すことができる、楽しむことは前向きな精神状態や思考を保つ、ということないでしょうか。そして大舞台で楽しむ為には普段の練習からも楽しんで取り組み、良い練習を積み上げていくことが良い結果へと繋がっていくものと考えます。では、スポーツから仕事に置き換えてみると『楽しむ』ということも同様で、日々の仕事を楽しめるような考え方、取り組み方が出来れば自分の仕事に対してより深く、広く追求することができ、より最高の結果を出すことができるでしょう。もちろん一見苦しい、辛いと思える場面はいくらでも直面していると思います。ですがその一面だけを見てマイナスに捉えるのではなく、その苦しい中にどういったプラスになる面があるのか、楽しめるポイントがあるのかを考えられる気持ちで取り組むことで自分自身の見える世界も変わっていきます。「仕事は楽しく」とモーリン語録にもあります。せっかくなら楽しんでいきましょう。



前期高齢者

村田 恒夫（総務・経理）



先日、日本年金機構から大切な書類（年金の請求手続きのご案内）が届きました。「高齢者の医療の確保に関する法律」では、65歳から74歳までの人を前期高齢者と定めています。公的年金を受給できる年齢は65歳以上です。私も年金を受給できる年齢（2月で65歳）になり前期高齢者の仲間入りとなります。65歳になって、即、年金の請求をすることは考えていませんが、自分が高齢者という自覚が薄かったので、前期高齢者という響きにはショックでした。ただ、前期高齢者として老後のことは真剣に考える必要があります。最近、金利上昇以上に、世の中の物の値段、つまり物価が上昇しています。今や日本の経済はデフレモードからインフレモードへシフトしています。このままインフレが加速すれば銀行に預けているお金は実質目減りすることになりますが、最近ニュースでも話題になっている新NISA、岸田内閣の「資産所得倍増プラン」の目玉としてNISA（小額投資非課税制度）が大幅に見直され、資産を非課税で運用できる期間が無期限になりました。NISAは、投資専用の非課税口座です。NISAで運用する上場株式や投資信託等は配当や売却で得られる利益には税金（所得税・住民税・復興特別所得税を合わせた約20%の税金）がかかりません。個人的に、この制度には大変興味を持っています。新NISAのしくみ・投資信託の商品等の知識を身につけながら、積極的に活用する準備をしています。健康面に関しては、2年前に眼底出血が原因で網膜中心静脈閉塞症により視力の低下（視力の回復は不可）、その他にも記憶力の衰え、体力の衰えが心配ではありますが、人間ドッグ・MRI検査・CT検査は1回／年、眼科は2回～3回／月、内科は1回／月の検査及び治療をしています。これからも病気とは長いお付き合いしながら仕事と趣味（旅行・ライブ等）とを両立出来ればと思います。

抱負

伊東 義弥（特販部）



新年あけましておめでとうございます。はじめに1月1日に起こった石川県能登地方の地震により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族に心からお悔やみを申し上げます。また、被災地域の日も早い復興をお祈りいたします。皆様、年末年始の休みはいかがでしたでしょうか？しっかり休みが取れた方や里帰りされた方など各々充実した休暇を過ごされたかと思います。今回の年末年始は政治家の裏金問題やダウタウン松本氏の報道、先に述べた能登半島地震。。大きなニュースがたくさんありました。悪い話題が続いた中ではありますが、森松としましては、2020年を最後に開催できていなかった「元気の出る信念会」をようやく開催することができました。4年ぶりの開催でしたが、たくさんの企業様にお集まりいただき以前と変わらぬ盛況ぶりでした。参加いただいた企業様からもお喜びの声をいただき、たくさん情報交換をさせて頂くこともできました。また、個人的な嬉しいニュースとしては、妹が二人目を授かり、6月に生まれる予定です。年始からいろいろあった2024年ですが、今年の私の抱負は「選択と決断」です。去年は通販の紙媒体が大きく数字を下げ、いまだ回復の兆しが見えていない中ではありますが、その中でもこれまで扱ってこなかった素材、新しい業界や新商品など昨年仕込んだものがようやく今年上梓されます。また、ベトナムでも少しずつ進展しており、輸出の目標を追う一方で輸入の話が出てきました。チャイナリスクの回避が主な理由ですが、それでもベトナムを選ぶ方が多く、こちらとしてもやりがいを感じております。まずはやれることから目先の数字を取りながら、大きな目標であるベトナムでの販売を模索していく考えです。今年はいよいよ選択肢を増やし、その中で正しい決断ができるよう準備し動いていきたいと思っております。皆様、本年も何卒宜しく願い申し上げます。

浜名湖

西垣 浩司（製造部）



今年に家族で浜名湖と館山寺温泉へ行きました。浜名湖は浜松市西部に広がる日本で10番目に大きい湖で、南端で遠州灘とつながる汽水湖として有名な場所です。もともとは淡水湖だったが、1498年の大地震と津波により、境になっていた砂州が決壊し汽水湖になり、非常に複雑な形をしていることで有名で、細江湖・猪鼻湖・松見ヶ浦・庄内湖と4つの付属湖があり、湖の周囲長は約114kmにもおよび、汽水湖としては日本一の長さだそうです。淡水と海水それぞれの栄養素が集まる恵まれた環境にあり、魚介類800種以上が生息しています。昔から漁業が盛んな地であり、名産の鰻を始め海苔・牡蠣・スッポンなどの養殖も盛んです。湖の沿岸各所に有名観光スポットが数多くあるのも浜名湖ならではです。湖東岸の浜名湖館山寺温泉（かんざんじ温泉）、北岸の寺院「館山寺」、夕景の美しさと湖面の鳥居で知られる弁天島、遊園地の浜名湖パルパルや浜名湖ガーデンパークなど挙げていけばキリがないほどです。湖面から周囲の風景を楽しめる浜名湖遊覧船や湖畔を走るサイクリングも人気で、1958（昭和33）年に開湯した、浜名湖沿岸に広がる温泉街の北側の館山にある曹洞宗館山寺（そうとうしゅうかんざんじ）に由来する。温泉街の対岸には大草山（標高113m）があり、日本で唯一湖上を渡る「かんざんじロープウェイ」で山頂まで上ることが可能で、山頂の展望台からは温泉街を一望できます。浜名湖の雄大な景色を眺めたり、地産のうなぎを堪能したりしながら、温泉街のそぞろ歩きも存分に楽しめ、リフレッシュが出来た一泊二日旅でした。



年末ジャンボ宝くじ

丹羽 義直（製造部）



新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。皆様は、年末ジャンボを買ったことはありますでしょうか。昨年、私は兄の誘いから人生で初の宝くじを購入いたしました。某日、名古屋駅にある「名駅前チャンスセンター」が人気ということで兄と向かってみると、そこには他店と比較して圧倒的なまでの長蛇の列ができあがっており、人気のほどが伺えました。待ち時間に少し調べてみると、ここでは今まで1億円以上の当選が278本で総額484億円も出ているとのこと。地元の宝くじ売り場の実績も併せて調べてみると1億円以上の当選は片手で数える程度のもが多かったため、よりその凄さを実感しました。そうこうしている内に私が買う順番が…。今回はとりあえずバラ30枚購入しました。その後は大曽根駅近くにある「金（こがね）神社」に向かい、宝くじを洗い清めご利益を授かりに行くとのことで、電車に揺られ現地へ向かいます。神社に到着すると、多くの参拝客で賑わっており、皆の手には宝くじが握りしめられておりました。ここでも列に並び数十分後…黄金洗いと云う、ざるの中に金銭や宝くじ等を入れ恵比寿様と大黒様に御神水をそれぞれ三度かけた後に流れる御神水で洗い清めることにご利益を得るというものでした。洗い場の壁には過去に参拝した方の当選くじや馬券など「何かしら儲かりましたよ」といったレビューを掲載する場になっており面白かったです。以降は抽選日まで「当たったら何に使おうか～」といった月並みなことを考えながら過ごしておりました。そして来る12/31の当選発表日…には宝くじの存在を忘れていたため、あくる朝1/1に番号の確認をいたしました。結果は…なんと…3,900円!!内訳は6等1本、7等3本でした。収支結果としては完全にマイナスでしたが、割合的にはマシな方だったのではないのでしょうか。一応はご利益の効果があったのかもしれませんが（笑）今後も気が向いたら少額で買ってみようかなと思いました。

2月3日は節分です。皆さんのご家庭では豆まきはしますか？ 調べてみると節分にも地域性があり面白かったのでご紹介します。

●掛け声

一般的に「鬼は外、福は内」のかけ声で行う豆まきですが、地域や社寺により違ったかけ声で行うこともあります。

・「福は内、福は内」

千葉県成田山新勝寺では、不動明王の慈悲が大きく、邪悪な鬼も屈服し改心するという考えから、「鬼は外」とはいいません。

・「千秋万歳福は内」

こちらは東京都浅草にある浅草寺でのかけ声。浅草寺でも「鬼は外」とはいいません。観音さまの前には鬼はいないということからこのようなかけ声で行っています。

●食べ物

節分の日の食事というと、恵方巻や豆を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。実は他にも節分の日に縁起が良いとされている食べ物があり、豆まきのかけ声と同様、地域により違いがあります。

・いわし

「柊鰯（ひいらぎいわし）」と呼ばれる柊の枝に鰯の頭を刺した飾りがあります。

鬼が苦手な鰯の匂いと葉の棘で鬼の目を刺すことで鬼の侵入を防ぐといわれています。反対に、鬼が好きな鰯でおびき寄せ、柊の棘で目を刺すという説もあるそうです。

豆まきや節分についてまとめましたが、みなさんのご家庭ではどのように過ごされているのでしょうか？

時代と共に少しずつ変化していくこともありますが、
家族の健康と幸せを願う気持ちは、**今も昔も変わりませんね。**

船釣り

小俣 蓮（製造部）



2023年12月中旬に、企画営業の清水さんと船釣りに行きました。朝4:30に集まり、南知多豊浜の港へ。愛知へ引っ越してからの釣りは初めてで、ドキドキワクワクしていました。その日は寒さも少なく、朝は霧が濃い状態でした。私自身1回だけ船釣りに行ったことがあるのですが、その時は船酔いが酷く辛い経験しかありませんでした。不安を抱えつつ、いざ乗船…。波が荒い状態でも、全く酔うことなく無事に最後まで楽しむことが出来ました。釣果は…トラフグのみでした。「おお、おめでとう！フグだ！今の船の釣果的に1番値段高いよ！」と同じ船に乗っていたベテランの方が声をかけてくれました。しかし、その声をかけて下さった方が、私が釣ったフグより2倍以上のフグを釣り上げ、なんとも悲しい結果に…。釣ることは出来たので良かったですが、もうちょっと釣りたかったと言うのが本音です。帰り際に、別の船の方が丸々と肥えたワラサ（ブリの成長前）を持ち帰っていいよと言われ、持ち帰って捌いてしゃぶしゃぶにしたり、煮付けにしたり、海鮮丼にしたり…トラフグも捌いてもらって食べました。こんな機会をくれた清水さんにも感謝ですし、何から何まで準備もして頂き、楽しい休日になりました。最後に船長から「今日酔いとか大丈夫だった？また来なよ！」と気軽に声をかけて頂き、次はもう少し知識を入れつつ、またリベンジしたいと思いました。

